

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	市史編さん活動事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	05	08	02	02
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	図書・博物館				
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長	小栗 信一郎				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山の歴史を学習したい方	意図	流山の歴史に関する資料及び研究成果を増加させる。流山に関する市民の理解や郷土意識の向上を図る
事業内容	流山に関する資料の収集・保管、流山の歴史の調査・研究、古文書の解読、市史編さん審議会の開催、講座の開催、講師の派遣。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和59年の機構改革に伴い、市史編さん室が廃止されて市史編さん係が設置され、各種の市史編さん活動を実施。市史編さん審議会の開催。講師派遣を実施し、多くの参加者を得てきた。平成14年度からは市史編さん係が学芸係に統合され、業務を担当している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	講座開催回数・講師派遣数	4	8	8	回	→→	
②	講座受講者数	129	207	277	人	→→		
③	解読された古文書数	968	1097	2050	点	→→		
④	刊行物の数	1	0	0	件	→→		
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・古文書講座（前期・後期）を昨年度と同回数開講したが、受講者数の増加がみられた。 ・古文書解読については、堅実に解読を進めており、現状を維持している。	
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		8,641,471	9,242,654	10,272,331				
事業費(b)(円)		3,636,031	3,403,204	3,915,951				
うち一般財源		3,636,031	3,403,204	3,915,951				
職員給与費(c)(円)		5,005,440	5,839,450	6,356,380				
人役・職員(人)			0.40	0.40				
人役・再任用(人)		1.00						
人役・臨職(人)		2.39	2.55	2.82				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	市内に残る古文書の理解を深めるために、講座を多く実施する。	③取組の課題	未解読資料の解読を進める。資料公開に向けた準備を進める。市史研究の刊行
②今年度(H29)に実施した取組	多くの市民に古文書と触れる機会を設けた。	④今後(H30以降)の改善計画	市史研究の刊行。古文書目録の整備・作成。